

骨太の方針2019

第25回参議院議員選挙は21日に投開票が行われ、日本薬剤師会が擁立した「本田あき子」候補は、自民党比例の名簿順位14番目で見事当選されました、おめでとうございます。また、自民党は57議席を獲得、公明党と合わせた与党で71議席と、改選議席の過半数を大きく上回る結果となり、引き続き安定した政権運営を担うこととなりました。ご支援頂いた皆様に心より御礼申し上げます。

政府は6月21日、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（いわゆる「骨太の方針2019」）を閣議決定しました。

骨太の方針では今後の経済財政運営について、直面する様々な課題を克服して持続的かつ包括的な経済成長の実現と財政健全化の達成を両立させていくことが最重要目標であるとし、第1に、Society 5.0時代に向けた人的・物的投資を一層喚起し、生産性を飛躍的に向上させ潜在成長率を引き上げていくこと。第2に、成長力の強化とともに内需・外需の拡大を図ることにより、成長と分配の好循環を一層進めていくこと。第3に、人生100年時代の到来を見据え、人づくり革命を進めるとともに、制度や考え方を見直し、高齢者から若者まで、誰もがいくつになっても活躍できる社会を構築すること。を掲げています。

「Society 5.0」の実現に向けては、デジタル市場の競争状況の評価等を行う政府内専門組織の設置やデジタル取引の透明性・公平性を確保するためのルールづくりを行うほか、医療分野では、2021年3月からマイナンバーカードの健康保険証利用の本格運用を始め、2022年度中に概ね全ての医療機関等での導入を目指し、読み取り端末等の早期整備を十分に支援するとしています。

社会保障制度については、団塊世代が75歳以上となる2022年までに制度の基盤強化を進めるため、開発工程表を確実に推進し、2020年度の骨太の方針において、医療の給付と負担のあり方等、総合的かつ重点的な施策の取りまとめを行うとしています。また、医療提供体制について、病院と診療所の機能分化・連携等を推進しつつ、かかりつけ機能のあり方を踏まえ、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師等の普及を進めるとともに、医療機関へのかかり方の啓発を行うとしています。

この他、イノベーションの推進を図ること等により、医薬品産業を高い創薬力を有する産業構造に転換するとともに、医薬品開発の促進に資する薬事規制の合理化を進めることや、調剤報酬について、地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価や対物業務から対人業務等への構造的な転換の推進等、20

20年度報酬改定に向けて検討し、併せて、医療機関及び薬局における調剤の実態や報酬体系を踏まえ、調剤技術料の適正な評価に向けた検討を行うこと等も明記しています。

本田先生とともに、医療等の社会保障の充実と医療関連産業の発展に努めて参りたいと思います。